

特別講演

科学と私たち、 科学と文化

この特別講演は、2015年度大学院講義「科学コミュニケーション」の一環です。

2015 16:30 ~ 18:30

7.17
FRI 大学院理学研究科
第3講義室

合同A棟2階 205号室

科学は私たちの生活とは
切り離せない存在の

はずなのに

難しいものとして**敬遠**されがちです

私たちの暮らしに

欠かせない科学を

私たちの手に取り戻すことは
可能でしょうか？

「科学を文化に」

とは、よく使われるスローガンですが、

その目指すところは**何**でしょう？

日本での新たな

「科学コミュニケーション」

を
共に考えていきましょう



内田麻理香

うちだまりか

東京大学工学部応用化学科卒
東京大学学際情報学府博士課程単位取得退学

『カソウケン（家庭科学総合研究所）へようこそ』
を出版後、サイエンスライターとなる。

東京大学工学部広報室特任教員に就任後、独立。
雑誌、テレビなど各種媒体を通じて活動中。

主な著作：

『科学との正しい付き合い方』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）

『理系なお姉さんは苦手ですか？』（技術評論社）

『おうちの科学』（丸善出版）他多数 毎日新聞書評員

ご興味のある方はどなたでも
ご参加いただけます

■お問い合わせ

hondou@mail.sci.tohoku.ac.jp(本堂)

内線 5823

大学院集中講義

科学コミュニケーション再考

- 理論と実践の両輪から -

講義：

科学コミュニケーションのモデル
- 「コミュニケーション」から再考する -

ワークショップ：

既存および理想の科学コミュニケーション
実践のマッピング

特別講演：

科学と私たち、科学と文化

講義：

コミュニティを作る科学コミュニケーション

※単位取得希望で未登録の学生は、大学院
教務係に相談して手続きをしてください

7.17
FRI

13:00 ~ 16:00

7.18
SAT

9:30 ~ 12:30